

教育ボランティアニュースレター

第25号

発行月 令和2年7月

大学の近況をお伝えします！

新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言を受けて、本学では4月の新学期当初からオンライン授業を開始しました。教員はオンライン授業と並行し、兵庫県や神戸市からの委託を受けて新型コロナウイルスの電話相談や軽症者宿泊療養施設での支援を行いました。6月からは、ようやく学生が週1回ですが学年別に曜日を分けて登校するようになりました。そんな本学の状況についてご報告いたします。

オンライン授業の様子

4月の新学期に合わせてインターネット回線を通じてのオンライン講義を開始しました。初めての試みだったため、教員も苦戦しながら準備に奮闘しました。講義は、教員から一方的に伝えるだけではなく、グループワーク等もできるようになっています。学生は自宅に居ながらも画面を通じて積極的に質問や意見を述べてくれます。教員は学生から刺激を受けながら、学生の協力を得て、新鮮な気持ちで工夫しながら講義を行っています。



いちかん手作りマスクプロジェクト

感染拡大に伴い、市場でマスク不足が深刻化していたことから、布マスクを作成し必要としている方に届けたいと学生と教職員有志による「いちかん手作りマスクプロジェクト」が発足し、趣旨に賛同した学生がマスクの作成を行いました（作成経費は教職員の寄付）。作成された手作り布マスクは、励ましのメッセージを同封し、療養施設を退所される療養者の皆様にお届けしました。



新型コロナウイルス電話相談 軽症者宿泊療養施設での支援

看護師資格のある有志の教職員と学生・大学院生が、保健所業務の電話相談支援を行いました。兵庫県には3月下旬～5月下旬まで延べ26回、神戸市には電話相談の後方支援および検疫所から連絡があった健康観察者の健康確認について4月～5月下旬まで延べ54回の支援を行いました。

新型コロナ感染症軽症者宿泊療養施設には神戸市からの協力要請を受け、開設初日から5月末まで継続して24時間体制で延べ99回看護教職員を派遣し、看護業務および施設の看護体制構築支援、療養者へ配布するパンフレットの作成支援を行いました。

新委員長からの挨拶

2020年4月から地域連携教育・研究センター運営委員会委員長になりました 片倉直子 と申します。

現在、教育ボランティアの皆様にご指導いただけないのが学生・教職員一同大変残念ですが、「三密」を避けられる準備が整いましたらあらためてご連絡いたしますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局・新担当者からの挨拶

このたび教育ボランティア事業の事務担当となりました 中島明子 です。教育ボランティア導入授業が再開され、皆様にお会いできる日が来るのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。